

# 豊川市・キュパティーノ市



本市では去る7月16日から22日まで、姉妹都市提携25周年を記念してキュパティーノ市へ市民使節団を派遣しました。そこで、団長の市長に訪問記をお願いしました。

## 市民親善使節団訪問記

市民親善使節団長 豊川市長 中野 勝之

陽炎のように遠くで揺れる山並みを目指して、赤茶けた砂漠化した丘の中をフリーウェイ101が続いている。シリコンバレーの真夏の風景は、サングラスを通してもすべてが眩くて、光に溢れている。使節団が乗った大型チャーターバスは、4車線のうち空いている一番左側を快走する。3人以上乗車していれば通れる優先レーンである。時折、右側から勢いよく小型車がすり抜けていく。その車体には、HONDAやTOYOTAの洒落た文字が刻まれている。カリフォルニアの熱風は、私の脳裏に「中学生使節団」とともに過ごした20数年前の日々を鮮明に呼び覚ましてくれた。同じ光景を、今回は、総勢23人からなる市民親善使節団の団長として再び経験することとなった。

予定より30分遅れで午後2時30分に、バスはキュパティーノ市役所前に着いた。出迎えは、市長が所用のため、代わりにシティマネー



キ市市役所での歓迎風景。左から中野市長とマイケル・チャン、キ市長

ジャーのナップ氏になると聞いていたが、市役所の玄関ホールで待っていてくれた人物は、マイケル・チャン市長自身であった。チャン市長は、5年前の姉妹都市提携20周年の時の市長でもあったが、5人の議員が1年ごとのローテーションで市長に任命される米国の制度では、奇しくも、25周年の今年も市長となっていた。彼は、市内にある

デアンザ大学で異文化間のコミュニケーション及びアジア系アメリカ人研究の教授を務め、部門主任と運営委員会のメンバーでもあった。彼は、私が教育出身者であることを知っていたので、夕食会に招いてくれた時も教育問題ばかりが話題となった。東洋系の優しいまなざしの中にも、教育に関しては強い信念を持っている



ケネディ中学校を訪問。夏休み中希望者対象の課外授業を見学

ると、少々オーバーなアクションと言葉から感じとれた。あまり広くない市役所の玄関ホールに、姉妹都市委員会のメンバーや市の職員など大勢で出迎えてくれた。歓迎会は、熱烈で身動きが出来ないほどの混雑ぶりだったが、この時に私が抱いた最初の好印象は、米国を発つ日まで変わることはなかった。

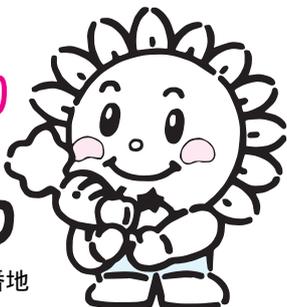
翌日、紺碧に染まったカリフォルニアの空が朝から眩しく、すこし時差ボケが残った状態であったが、私達は予定どおりケネディ中学校を訪問した。出迎えは、サングラスをかけた背の高いビル・ブラッグ教育長が来てくれた。この「ケネディ」という名は、ケネディ大統領から名が付いたらしいが、特に由緒があるわけではなく、全米中でケネディの名を付けることが一時流行したことの名残だそうだ。ケネディ中学校で最初に案内されたところは、英語を母国語としない社会人に英語を教える教室であった。生徒は、インド、イラン、中国、日本など

あなたの 身近に  
「ベストな ひまわり」

ひと・夢・いいね。

 **JAひまわり**

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地  
(0533)85-3171



夢の旅へ  
出かけよう!!

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

**JAひまわり** 旅行センター

プリオ4F (0533)89-3055  
営業時間 / AM10:00 ~ PM7:30

